

# 大阪柔整だより

## 新年のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。

会員の先生方にはご家族様とともにお健やかに新年をお迎えになられた事とお慶び申し上げます。

昨年はコロナで始まりコロナで終わるという 1 年になり生活様式も大きく変化した年となりました。経済活動も 2008 年のリーマンショックをはるかに上回る 43 兆円の落ち込みとなり、経済の回復は 2022 年までかかると言われております。また、業種についても外食産業、観光業を始め医療業界にまで及び多岐にわたっております。日々、地域医療に携わっておられます先生方におかれましては、最前線で患者と対応する中で、この現況について如実に感じ取られている事だと思えます。

新型コロナウイルス感染拡大の収束が見えない状況下において、医療現場で自らの感染リスクや感染対策に加え、受診率の低下等により施術所運営が厳しい中、地域医療に貢献して頂いている事に深く感謝申し上げます。

大阪社団も新型コロナウイルスの影響により、社会経済と同様に財政基盤が厳しさを増しておりますが、この状況を乗り越えるため全ての事業の精査を行い、費用対効果と効率的な事業運営を図り先生方にご負担をおかけしない施策を検討して参ります。

今年は何としても新型コロナウイルスに打ち勝ち、現状を打破して正常な社会生活に戻らなければなりません。今夏には延期された東京オリンピック・パラリンピックが開催され、経済も復活の兆しを見せてくれることを期待しております。

そして、2025 年には大阪・関西万博が開催されます。その時には経済が完全復活し元気な大阪が戻ってきていると信じております。

さて、本年は大阪府柔道整復師会創立 100 周年、社団法人設立 60 周年、公益社団法人認定 10 周年という節目の年でもあり、先達の先生方が心血注がれ受け継がれてきた本会を次の 100 年に引き継ぐ年である記念式典を 1 月 11 日に無事開催する事ができました。コロナ禍のため残念ながら祝賀会は中止とさせて頂きましたが、知事表彰を始めとする記念表彰を受けられた会員の先生方には心からお祝い申し上げます。

伝統ある大阪社団は、日本の伝統医療の継承、発展を目指し、資質の向上と学術研鑽を行うとともに地域医療に貢献する職能団体として府民の信頼の下、邁進していく所存でございます。

会員の先生方には、お身体ご自愛頂くとともに社団運営にご理解とご協力をお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

公益社団法人 大阪府柔道整復師会 会長 徳山 健司